

鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画 の点検及び評価について

事業計画に基づく施策の進捗状況

【教育・保育事業】平成27年度

(単位；人)

量の見込み	施設区分	1号認定	2号認定	3号認定	
				0歳	1, 2歳
	幼稚園（公立）	660			
	幼稚園（私立）	1,796			
	保育所（園）・認定こども園		2,823	351	1,248

確保の方策	施設区分	1号認定	2号認定	3号認定	
				0歳	1, 2歳
	幼稚園（公立）	660			
	幼稚園（私立）	2,610			
	保育所（園）・認定こども園		3,143	353	1,254

実績	施設区分	1号認定	2号認定	3号認定	
				0歳	1, 2歳
	幼稚園（公立）	612			
	幼稚園（私立）	1,708			
	保育所（園）・認定こども園		2,888	427	1,535

※平成28年3月1日現在における児童数

【地域子ども・子育て支援事業】

平成27年度

事業名	量の見込み	確保の方策	利用状況（実績）
時間外保育事業	2,223人	2,223人	1,877人
放課後児童健全育成事業	1,546人	1,546人	1,628人
子育て短期支援事業	117人日	117人日	296人日
地域子育て支援拠点事業	48,934人回	48,934人回	60,850人回
一時預かり事業（幼稚園）	8,314人日	8,314人日	10,992人日
一時預かり事業（その他）	3,631人日	3,631人日	11,070人日
ファミリー・サポート・センター事業	5,233人日	5,233人日	4,235人日
病児・病後児保育事業	1,052人日	1,052人日	935人日
妊婦健康診査事業	23,400人回	23,400人回	20,684人回
乳児家庭全戸訪問事業	1,817人	1,817人	1,639人
養育支援訪問事業	990件	990件	1,071件

主な取組実績の状況

〈1〉教育・保育事業

- 幼稚園の1号認定に関しては、私立幼稚園が新制度に移行していないため、正確な1号認定と2号認定の実績は把握できないが、「量の見込み」を下回る実績であることがわかる。（1号認定、2号認定の合計数から判断）
また、保育所等における2号認定は、おおむね「量の見込み」どおりであるため、確保に余裕がある。
- 3号認定に関しては、0歳及び1, 2歳のいずれも「量の見込み」「確保の方策」を上回る実績である。特に1, 2歳において顕著である。

〈2〉地域子ども・子育て支援事業

- 時間外保育事業は、実利用者数としては「量の見込み」を下回っているが、延べ利用人数は60,000人日を越えている。
- 子育て短期支援事業（ショートステイ）は、当初見込みの約2倍の利用があった。
- 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）は、平成27年度から2箇所増加したこともあり見込みを上回っている。
- 一時預かり事業（幼稚園）は、実利用者が707人であることから、在園児童の約4割の保護者が就労等で一時預かり事業を利用している。
- 一時預かり事業（その他）は、公私立保育所あわせて、12施設で行っているが、「量の見込み」の約2倍以上の実績がある。
- 妊婦健康診査事業、乳児家庭全戸訪問事業は、ともに「量の見込み」を下回っている。

評価等の視点

- 点検により、現状との乖離がないか。乖離のある事業について、原因として考えられることは何か。
- 今後、施策の方向性など変更等の検討が必要と思われる事業はないか。